

大野保育園

日時：平成20年2月 8日(金) 13:00~17:00

平成20年2月13日(水) 9:00~17:00

場所：甲賀市土山町大野 461-2

大野保育園と一号線を挟んだ前には花枝神社があります。神社の森に一步踏み入ると、別世界が広がります。公開保育では、下見のときには降っていなかった雪が降り、いっそう神秘的な場所となりました。

プログラムを作る前に下見に行きました。



大変寒い日でしたが、森の中は暖かく感じました。

「下の方の植物は風をよけて、冬を越します。高い木は木と木で支え合っています。」森の植物の成り立ちから始まりました。その後、木や葉っぱや土をおったり、ルーペで見たり、触ったりして五感を呼び覚ましました。1人1本の木をだっこしたり、話しかけたり、上を見たりしました。



寒いので、自然物を使って、体を動かせるあそびをしました。森の中であそんだ後、グループに分かれ、プログラムを作ります。



「いろいろな木を探そう」のプログラム

森の中のさまざまな木を触ったり、におったり、話しかけたりして、大好きな木を見つけ、木に名前を付けます。

めっちゃ、サラサラしてる



ドキドキなってる

抹茶のにおいがする



絵の具のにおいがする

木も生きてるんやなー

雪がお花みだから、オハナがいいよ



デッカーにしようよ

支援者が言ったテーマの木を探し、グループで囲む。

- ・大きな木
- ・緑の木 など



木に名前を付けたことで親密感が生まれました。木にも命があり、大切にしなければならぬことがわかりました。

「このふわふわなんだろう？」のプログラム

雪の下にある土を素手で掘ります。

土の中にもいろんな生きものが住んでいることがわかりました。

最後に掘った穴をどうしたらいいのか考え、生きものが困らないようにソツとソツと土をかぶせました。

雪の下には何があるのかなー

かえる！

土！！

ダイヤモンド

ミミズ！

木の根っこ

もぐら！





ただ穴を掘る単純なことで、いろんな発見やつぶやきがありました。

「ぼくもわたしも、みんなモグラ!」のプログラム

グループごとに、4本の木をロープでつなぎ、モグラの道を作ります。



雪ならではのあそび
雪と光のシャワー



モグラの気持ちになり、目を閉じて、ロープを伝って歩きます。木の所では目を開けてもかまいません。

モグラは目が見えにくいので、においや手で感じます。目を閉じて歩くことで、足の裏の感覚や聴覚などをいつも以上に使いました。モグラの気持ちが少しわかった気がしました。

参加された先生の 声

子どもたちが心を動かす体験ができたと思う。また子どもがいやがることを無理強いするのではなく、やりたいという気持ちを大事にすることなど、保育を見直すことができた。

穴を掘ったり、木を触ったりするだけの単純なあそびで、子どもたちはいろんな物を発見し、つぶやきが増え、あそびも広がっていった。

寒さよりも楽しかったことや発見したことが多かった。こんな気持ちになれ、経験できて良かったと思う。

Q & A

(解答: 講師 島川武治(しまっち))

Q: 自然体験をしたいと思うが、園外に出るには制限があり、保護者等の対応も必要になってきます。効果的に対応するにはどうすれば良いでしょうか?

A: 野外に出るには危険が伴います。でも野外に出るリスクは、支援者の力で軽減することができます。危険というリスクを減らし、子どもたちが自然体験を通して、得られるプラス面を大きくしていきましょう。また保護者には、自然体験を通しての心の育みや発見したこと、理解したこと、苦難に耐えたこと自然から学んだこと、興味をもったことなどを伝えたらいいでしょう。